お知らせ

2026年11月27日

JCOM株式会社

「令和8年熊本地震災害義援金」「令和8年8月千葉豪雨災害義援金」2つの災害への義援金を日本赤十字社へ贈呈

令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨により被害にあわれた方々に、謹んでお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

JCOM株式会社（J:COM、本社：東京都港区、代表取締役社長：岩木　陽一）は、2026年7月から8月にかけて相次いで発生した2つの災害を受け、被災された方々を支援するため、募金活動を実施しました。お客さまおよびJ:COM従業員から寄せられた募金に、J:COMから同額の寄付金を加え、総額12,379,908円を、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。両災害への義援金の贈呈式を11月19日（木）に実施しました。



日本赤十字社　パートナーシップ推進部長　安江　一（左）、J:COM　常務執行役員　大橋　一博（右）

義援金は、被災地の方々の生活支援に役立てられます。今回の募金活動にご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

J:COMは、重要課題（マテリアリティ）の一つに「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」を掲げています。自治体やパートナーとともに、平時の備えから災害発生時の情報発信、発災後の復興支援まで、地域に寄り添った活動を行うほか、震災の記憶や教訓を伝承する取り組みを進めています。

J:COMはこれからも、パートナーや地域の皆さまと協力しながら、防災・減災や災害復興に向けた取り組みを続け、安心安全な暮らしの実現に貢献してまいります。

■義援金受付方法

①「募金オンデマンド」

「J:COM STREAM」の仕組みを活用した「募金オンデマンド」で募金を受け付けました。J:COMのテレビサービスにご加入のお客さまは、簡単なリモコン操作で、J:COMを通じて募金ができます。募金額は100円から10,000円までの5種類からお選びいただけます。

②当社Webサイト

オンライン寄付決済システム「コングラント」を通じ、インターネット上で募金を受け付けました。実施期間中はJ:COMのサービスにご加入いただいていない方も募金ができ、募金額は500円から10,000円までの5種類からお選びいただけます。

③社内イントラネット
社員向けイントラネットにて従業員からの義援金を受け付けました。

■「令和8年熊本地震災害義援金」について
実施期間：2026年8月3日（月）から2026年9月30日（水）
義援金総額：9,472,172円
寄付先：令和8年熊本地震災害義援金（配分先：熊本県） ※日本赤十字社を通じて寄付実施
寄付日：2026年10月30日（金） ※2026年11月19日（木）に贈呈式実施

■「令和8年8月千葉豪雨災害義援金」について
実施期間：2026年8月26日（水）から2026年10月31日（土）
義援金総額：2,907,736円
寄付先：令和8年8月千葉豪雨災害義援金（配分先：千葉県） ※日本赤十字社を通じて寄付
寄付日：2026年11月30日（月）予定 ※2026年11月19日（木）に贈呈式実施

■日本赤十字社との取り組み
J:COMは、日本赤十字社が実施する「赤十字防災セミナー」の活動を支援するほか、過去には日本赤十字社監修の防災映像シリーズを制作・配信。日本赤十字社と連携し、防災・減災に向けた多角的な取り組みを進めています。
https://www.jcom.co.jp/corporate/sustainability/community/disaster_prevention/safety_security/

J:COMのサステナビリティ
J:COMでは、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献し、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを定め、全社で取り組んでいます。

＜本事業と関連するマテリアリティ＞
マテリアリティ：「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」 サブマテリアリティ：「安心安全な街づくり」
自治体・パートナーと連携し、日ごろの備え、発災時の災害情報発信、復興支援まで災害から地域を守る活動を実施し、また、警察署などと連携して特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の被害防止に関する活動を推進します。防災・減災・防犯に関する取り組みを通して安心安全な街づくりへ貢献していきます。